

京都大阪森林管理事務所

担当者
森林技術指導官:植田 修司
TEL:075-414-9822

連携機関:京都府、(独)森林総合研究所森林農地整備センターほか

地域課題:木材の効率的・安定的な供給体制の確立

取組状況

- 民有林と国有林が連携して計画的な森林整備や効率的な路網整備を進めるため、平成22年に京都府や(独)森林総合研究所森林農地整備センター等と協定を締結して「由良川流域における森林共同施業団地」(京都府綾部市・京丹波町)を設定。以降、共同施業団地の関係者による連絡調整会議を開催して情報交換等を行いつつ、間伐や路網整備を実施。
- 国有林で生産した木材は、原木市場への委託販売等を通じて、地域へ計画的に供給。

成果と今後の課題

- これまで国有林内での林業専用道新設1,780m(平成26年2月現在)などの実績は上がっているものの、全体的には必ずしも当初の計画どおり間伐や路網整備が進んでいない状況。今後は、引き続き林業専用道の開設工事を進めるとともに、森林共同施業団地を含む本地域の森林・林業の将来像を検討し、それを実現する手段として本団地における取組を位置づけた上で、その具体的な進め方を見直していくことが必要。
- 京都府が進める「森林・林業経営高度化プラン」等、民有林における木材の効率的・安定的な供給体制の構築に向けた取組に対して、国有林材の供給等を通じた連携のあり方を検討。

森林共同施業団地の連絡調整会議の様子



森林共同施業団地内の林業専用道の新設



販売委託による国有林材の供給



京都大阪森林管理事務所

連携機関: 京都府立林業大学校、京都大学、京都府立大学

地域課題: 林業担い手等人材の育成

取組状況

- 京都大学や京都府立林業大学校の実習フィールドとして国有林を提供するとともに、職員を講師として派遣。
- 京都府立大学と近畿中国森林管理局との間で、森林の有する多面的機能の持続的発揮、資源の有効利用、地域振興に貢献するための調査研究、人材育成等を目的とした取組を連携・協力して進めることについて、協定を締結(平成25年11月)。

成果と今後の課題

- 今後も国有林の持つフィールドや技術を活かして大学等の実習への支援を実施することで、未来の林業の担い手育成に貢献。
- 京都府立大学との協定に基づき、同大学と連携・協力した研究や人材育成の取組を推進。

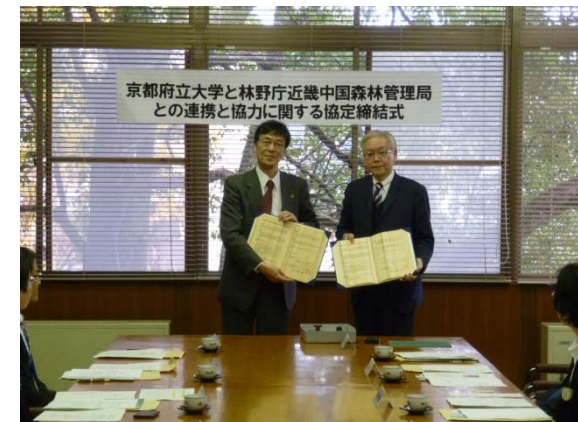
職員による京都府立林業大学校の実習支援



国有林を活用した京都大学の学生実習



京都府立大学との協定締結の様子



京都大阪森林管理事務所

連携機関:京都市ほか

地域課題:有害鳥獣被害対策(ニホンジカの個体数管理等)

取組状況

- 京都市有害鳥獣対策協議会へ参画し、情報共有及び対策の検討を実施。
- 大悲山・貴船山・鞍馬山国有林(京都市)において、くくりわなによるニホンジカ等の捕獲を実施(平成24年度~)。
- シカの動態に対応した防護柵の最適な設置方法について研究を行い、平成25年度森林・林業交流発表会において発表(森林総合研究所関西支所長賞を受賞)。

成果と今後の課題

- ニホンジカによる森林被害は、民有林・国有林を問わず深刻さを増しており、より効果的な捕獲方法を確立していくことが必要。
- 今後も国有林内において自ら捕獲に取り組むとともに、市町村等による国有林内での捕獲事業を推進するため、市町村や地元関係者との協力体制の拡充を検討。

国有林内におけるニホンジカ捕獲の様子



森林・林業交流発表会の様子



京都大阪森林管理事務所

連携機関:大阪府、箕面市、高槻市ほか

地域課題:病虫害対策(北摂地域のナラ枯れ対策)

取組状況

- 民有林と連携した効果的な被害拡大防止対策の実施に向け、国有林における防除事業発注予定等について大阪府や市町村等関係機関へ情報提供するとともに、燻蒸処理の作業仕様について情報交換。
- 大阪府主催の「ナラ枯れ研修会」及び「明治の森箕面自然休養林管理運営協議会」を通して、府内及び国有林の被害の現状を共有するとともに、国有林内で協議会と取り組んでいる新たな被害防除方法の実施状況について情報提供。

成果と今後の課題

- 箕面国有林(箕面市)、安満山国有林(高槻市)、楊梅山国有林(同)において、燻蒸処理による防除事業を引き続き実施。
- 今後、効果的な燻蒸処理方法について作業仕様の検討・活用。

国有林内における燻蒸処理の様子



試行しているナラ枯れ防除用粘着シート(箕面国有林)



研修会の様子(箕面市内)

